

## 第22回 東京都中学校生徒会長サミット 報告

- 1 開催日時 令和5年12月26日(火) 13時～16時(受付開始 12時30分)
- 2 参加方法 (1) 狛江市立狛江第一中学校にて対面  
(2) 島しょ地区については、Web会議ツールZoomを使用しオンラインで参加
- 3 ねらい 「認め合い 支え合い 高め合う 仲間づくり」をテーマとして、実践報告等に学び、各校の生徒会活動の充実を図る。  
他校との情報交換などを通して広く交流の機会を持ち、リーダーとしての資質や態度を育てる。
- 4 対 象 東京都公立中学校の生徒会長または生徒会役員
- 5 時 程 (1) 全体会(体育館) 13時～13時50分(50分)  
＜全体司会：狛江市立狛江第一中学校生徒会＞
  - ① 開会の言葉 狛江市立狛江第一中学校生徒会
  - ② あいさつ 東京都中学校特別活動研究会会長 滝沢 二三雄  
(品川区立鈴ヶ森中学校 校長)
  - ③ 実践発表  
江東区立深川第八中学校の取組  
町田市立つくし野中学校の取組
  - ④ 諸連絡 武蔵村山市立第四中学校 主任教諭 栗原 美絵
- (2) 生徒分科会(5分科会) 14時～16時(120分)
  - ① 情報交換及び協議会
  - ② コーディネーターより
- (3) 生徒会担当者研修会(多目的室) 14時～15時(60分)
  - ① 講師の講話

## 生徒会長サミット全体会報告

今年度は東京都の島しょ地区3校を含む62校の中学校、計146名の生徒会役員が参加し、開催された。全体会では、主催者を代表して東京都中学校特別活動研究会の滝沢二三雄会長の挨拶に続き、代表校2校である江東区立深川第八中学校と町田市立つくし野中学校の生徒会役員が自校の特色ある活動事例について発表した。その後、参加した生徒会役員が5分科会に分かれ、各校の活動内容や課題の共有、改善策の協議を行った。教員を志す大学生の参加もあり、全体会や分科会での生徒の様子を参観した。



## 実践発表① 江東区立深川第八中学校

### 【chromebook を活用した生徒会活動】

#### (1)chromebook 使用ルール改正

「休み時間の使用はNG!!」しかし、以下の2点の理由で、「休み時間も使えるようにしたい!」との声があり、使用ルールの見直しが行われた。

授業で学習したことを、その場で詳しく調べたい!  
chromebook で配信された課題を学校でも取り組みたい!



#### 『ルール改正までの流れ』

##### ①中央委員会でアンケート内容の話合い

#### 『アンケート内容』

(休み時間の使用状況、使用目的、メリットとデメリット、ルールが守れなかったら?)

##### ②全生徒へアンケートの配布→集計

##### ③アンケート結果を基にした話合い

##### ④休み時間の chromebook 使用ルールの見直し

#### (2)オンライン目安箱の導入

オンライン目安箱について「chromebook の利便性を考え、より多くの意見を集め、よりフィードバックを早くし、よりよい八中づくりにつなげる。(目安箱の有効活用と自由度を上げる)

#### 『紙での目安箱のデメリット』

##### ①全11クラスを回って目安箱をチェックすること

(それぞれのクラスの意見を全員で確認)

##### ②生徒会新聞「羅針盤」は、発行までに2, 3週間かかる

(集約に時間がかかる、返答にも時間がかかる)

#### (3)オンライン目安箱の仕組み ~投書編~

GoogleForms を使用し、GoogleForms のURL を各クラスルームに投稿。

- ①悪口やいたずらのないよう注意喚起
- ②自分のメールアドレスで記録（アドレス検索ができるように）

(4)オンライン目安箱の仕組み ～投書編～

chromebook のドキュメントを使用。

- ①先生と相談して出た結論を、ドキュメントに掲載
- ②「返答用ドキュメント」として、各クラスルームに投稿

**オンライン目安箱は八中の教職員と生徒をつなぐ！！**

**実践発表② 町田市立つくし野中学校**

**【生徒会 実践報告】**

(1)活動内容

全校朝礼の運営 委員会活動の運営 中学校説明会 3年生を送る会 新入生歓迎会  
生徒会新聞の発行（校則について、定期考査の勉強法など）

(2)投書箱への意見を取り入れた校則の見直し

- ①式典時での黒紺靴下の着用が可能になった
- ②電子辞書の持ち込みが可能になった

(3)いじめ0宣言

『目的』

- ①生徒一人一人が「いじめ」に対して正しい意識をもち、自らの力で「いじめ」をなくそうとする実践力を身につける
- ②学校全体で「いじめ0」に関するスローガンを決め、学校全体で「いじめ0」に向けて取り組む

『個人・クラスでの取組』

- ①担任の先生がいじめに関する道徳授業の実施

**【実践例】 「いじり？いじめ？」という教材（アニメ動画）を使って道徳の授業**

- ②中央委員が「いじめ0宣言」のプリントを配布し、いじめの定義と実例を説明
- ③一人一人が「いじめ0」を宣言
- ④宣言カードを模造紙に貼り、クラスで掲示

『学校全体での取組』

- ①スローガンを募集
- ②良かったものを厳選し、中央委員会で発表・検討して決定

→決まった学校スローガンは、 **「見てるだけ」 そんな私は昨日まで**

- ③スローガンを生徒総会で発表し、廊下に掲示



## 生徒会長サミット分科会

今年度は、5つの分科会で協議を行った。「認め合い 支え合い 高め合う 仲間づくり」のテーマに基づいて、各校での生徒会活動の実践報告や他校との情報交換等を通して交流の場を設け、今後の生徒会活動の充実のために役立てる機会とした。

### 分科会で話題に出された内容 [一部紹介]

「より良い学校生活を送ってもらうためにできること～生徒会で企画立案・運営している内容や専門委員会と協力して実践した例」

- ・ 新入生歓迎会 ・ エコキャップ運動 ・ ノーチャイム週間 ・ 昼休みの体育館開放
- ・ 地域清掃 ・ 挨拶運動 ・ 意見箱の活用 ・ 生徒会新聞の発行 ・ 花植え
- ・ マスコットキャラクター作成（各企画のPR等で使用） ・ 登下校の道広がり対策
- ・ いじめ撲滅運動 ・ 生徒総会を有意義なものにするための工夫 ・ 運動会生徒会種目
- ・ 受験生応援メッセージ ・ 新入生説明会 ・ 三年生を送る会（縦割り班ごとの手紙、部活動ごとの出し物など） ・ 生徒会レク（体育館でクイズ大会など） ・ ボールや傘の貸し出し
- ・ 空き教室を自習室に活用し、運営 ・ リクエスト給食アンケート（給食委員会）
- ・ 昼の放送で生徒会からの意見を回答 ・ 学級委員と協力し、タブレットの使用について注意喚起
- ・ 小中一貫校で、小学生に対していじめ授業実施 等

「意見箱の活用について」

- ・ 職員室前の設置ではなく、生徒用下駄箱付近、階段の踊り場、学年フロア、各クラスに1つ設置する
- ・ 投稿する箱や記入用紙を親しみやすいデザインや目立つものにする
- ・ 給食時の放送でアナウンスをしてもらう
- ・ 生徒会発行の新聞で知らせる
- ・ 親近感がわき、答えやすいようなアンケートを実施
- ・ どういう意見を出したらよいか分からない人がいるので、「これについて意見をください」というように募ってみる
- ・ 意見を出してくれた人に、生徒会新聞を通して返信をしたり、お手紙方式で返信をする
- ・ できる限り、早めの回答を心がける
- ・ 校則の見直しに関する要望が多く、生徒会だけで解決できるものではなく困ってしまう
- ・ 職員室前に設置することでいたずらが減ったので、一概に悪いとは言えない

「意見箱のオンライン化についての各校の考えや取り組み」

- ・ アンケートを取るときの集計が楽になった
- ・ 人目を気にせず投稿できるのが良いという反応が多かった
- ・ 従来の紙ベースの意見箱よりも活用してくれる人が多い
- ・ 学習者用端末から投稿できるようにしたが、意見が多すぎて回答に時間がかかったり、そもそも開かなかったりする人が多い（毎日見たくなるような内容を配信する、見る時間を設けてもらう等）
- ・ 入力に苦手な人は活用しようと思わない（→そのため、紙媒体も併用していく）

「校則の見直しに関して実践できた例（意見箱から）」

- ・ 電子辞書の持ち込み
- ・ 学生服や上着を羽織らずセーターやカーディガンで校内生活を可とした
- ・ 冬の時期の防寒着でスクールコートだけではなくダウンジャケット等を可とした
- ・ 服装見直しについて、お試し期間を作り、実施。 等

「SNS やタブレットのルール、マナーについて」

- ・ 学習に関係ないことに使わないよう呼びかけ強化
- ・ 充電してくる習慣づけを呼びかける
- ・ 過去のルール、マナーを見直して改訂し、カードで配付したり、ポスターに教室掲示した

「生徒会活動の充実に向けて」

- ・ 定例会を開いて活動内容や進捗状況を確認する
- ・ 放課後は部活動で忙しいので、朝や昼休みの時間を使う
- ・ タブレットで記録をとっておき、参加できなかった人にも共有できるようにする
- ・ 校長先生と定期的に話をする機会を作る
- ・ 区内、市内規模で、この生徒会長サミットのように情報交換をする（オンラインを含む）

参加生徒の声（振り返りアンケートから）

- ・ 改めて学校をよくしようっていう目標に向かってどの学校も全力で取り組んでいることが分かり、もっと頑張ろうと思えた。また、成功した事例を聞いたため、それを活かしてどんどんよい学校にしていきたいと思った。
- ・ 校則改善など本校の課題について助言をもらえたこと。
- ・ 様々なアイデアに触れられ、是非本校でも採用したいと思う企画が見つかったこと。
- ・ 他にどんな取り組みができるか自分たちだけで気付かなかったことに気付けた。

- ・いつも自分達の学校の中でしか情報交換ができなかったが、他の学校と情報交換をすることで、自分達の参考になるようなことがたくさん分かった。
- ・自分の学校で実際に行っている活動でも、やり方が異なっていて、試してみたいと思った活動や、自分の学校で実際に行っていないけど取り入れてみたいと思った活動が多かったです。また、様々な視点から課題などの解決策を考えたりなどの話合いも活発に行うことができて良かったです。
- ・自分たちの学校で困っていることを共有し、検討できそうなことが見つかった。
- ・分科会の机を班にして様々な学校とテーマに付いて話し合う事ができるのが良かった。
- ・知りたい意見を知ることができたこと。全体会では、代表校の発表がとてもわかりやすく、勉強になった。
- ・他校の取り組み状況やその成果について聞くことができ、今後の生徒会活動に繋げられると感じた。
- ・各学校のリーダーとなっている人と交流でき、とてもいい経験になった。また各学校で同じ問題を抱えているという点もあれば全く違う問題を抱えている学校もあって、その問題に対しても意欲的に解決しようとする事が出来た。自分たちの生徒会活動のヒントとなるものがたくさんあった。
- ・自分の生徒会が抱えている問題について全体で議論できた。
- ・今回のサミットのおかげで、新しいことに挑戦するきっかけになった。
- ・活動する上での課題をみんなで話し合えたことがよかった。
- ・いろいろな市区の生徒会の方と交流ができ、さらに意見交換や話し合いができてよかったです。
- ・遠く離れた学校でも自分たちと似たような学校運営における悩みをもって、話し合うことが出来たこと。具体的な対策案やアドバイスをもらえたこと。
- ・新たな生徒会活動に出逢えたこと。
- ・意見が行き詰まっていたので様々な意見を聞いてよかった。
- ・今後、より参加する学校が増えて様々な学校の多くの生徒会本部の方と交流を深められることを期待しています。それぞれの学校の良いところを知り、それを取り入れることができるようになること。
- ・本サミットをきっかけに、他校との関わりをもっと深めたい。
- ・これからも多くの学校が良い意見を共有し、その意見を参考にして自分たちの学校をより良くしていきたい。
- ・特定の学校だけでなく、色々な学校の特色に触れることができるため、さらにそれぞれの学校の活動が良くなることを期待しています。



【サミットの様子】

